

第一回 HBS 若手研究発表会開催報告

平成 21 年 2 月 6 日（金）16 時～18 時 30 分、医学部第一会議室において、第一回 HBS 若手研究発表会を開催しました。蔵本キャンパスの若手研究者が専門分野の枠を超えて、日頃の研究成果を発表しました。今回の参加者は、69 名でしたが、来年度以降もこの若手研究発表会をさらに活発に充実させて行く予定です。発表者は以下の通りです。

医科学 前川 洋一(生体防御医学・准教授)
「免疫細胞の細胞障害活性を制御する Notch シグナル」
坂根亜由子(分子病態学・助教)
「Rab 低分子量 G 蛋白質による高次神経機能制御」

口腔科学 井澤 俊(顎顔面矯正学・助教)
「樹状細胞における RANKL/Fas シグナルクロストークを介した関節リウマチ骨破壊機構の解明」
日浅 雅博(生体材料工学・助教)
「TACE による樹状細胞及び破骨細胞の分化制御機構」

薬科学 石田 竜弘(薬物動態制御学・准教授)
「リポソームをプラットフォームにした DDS 開発研究」

栄養生命科学 奥村 裕司(生体栄養学・准教授)
「II 型膜結合型セリンプロテアーゼ MSPL/TMPRSS13 の活性化と生理機能解析：高病原性トリインフルエンザウイルスの活性化機序を中心に」

保健科学 久保 均(画像情報医学分野・准教授)
「過偏極による感度上昇を利用した ^{13}C NMR 測定と細胞代謝のリアルタイム評価」



発表会終了後、「カフェテリア・くらら」において、懇親会が開催され、色々な情報が飛び交いました。